

知る・見る・巡る／ 阪神KAN お散歩マップ

4文学

物語の世界へ扉をひらこう！

KOBE・ASHIYA・NISHINOMIYA
阪神 K・A・N
モダニズム
Hanshin K・A・N Modernism

第4回 阪神間モダニズムと作家たち

大正から昭和初期にかけて阪神間で発展したのが、日本の伝統文化と西洋文化が融合した建築・芸術・生活様式を指す「阪神間モダニズム」。醸成された文化的な環境は、当時から現在に至るまで、多くの作家たちの才能を育んだ。そのモダニズム全盛期に阪神間に暮らした作家の代表格が谷崎潤一郎だ。20歳も離れた3番目の妻・松子夫人とその妹たちをモデルにした作品『細雪』の舞台で、実際に住んでいた「倚松庵」が東灘区に残っており、一歩中に入れば作品の情景が鮮やかに浮かんでくる。この「倚松庵」もそうだが、川や緑など自然豊かなロケーションが多い阪神間を、谷崎はことのほか気に入っていたという。

それは谷崎だけでなく、阪神間に住んでいた井上靖や遠藤周作などノーベル文学賞候補になった彼らも同様で、多くの作品で阪神

間の風景を描いている。なかでも毎年ノーベル賞候補に挙がる村上春樹は、大学入学で上京するまでの少年時代を阪神間で過ごし、作品には西宮や芦屋を思わせる情景がしばしば登場する。エッセーで自身を「阪神間少年」と称するほど、彼にとって阪神間への思いは深いようだ。

近年出版された阪神間ゆかりの人気作品を挙げるなら、西宮市出身の作家、谷川流の「涼宮ハルヒ」シリーズもその一つ。「もっとも成功したライトノベル」と言われる同シリーズは、エキセントリックな女子高校生がヒロインで、作品に登場するスポットは西宮の各所を彷彿とさせる。

シリーズ1作目。谷川 流「涼宮ハルヒの憂鬱」(角川スニーカー文庫)

投稿キャンペーンを実施中

【対象期間】
2021年6月30日(木)まで
投稿者の中から抽選で4名様に
賞品(QUOカード3,000円分)を
プレゼント。
※抽選の方法は、事務局から
ダイレクトメッセージでご通知します。

あなたの作品を掲載しませんか？

#感じる阪神KAN

神戸市(東灘区)・芦屋市・西宮市の三つのまちを巡って、「阪神間モダニズム」を感じる写真をInstagramに投稿してください。その中から次号本マップに掲載いたします。

【投稿方法】①Instagramで公式アカウント「@hanshinkan_modernism」をフォロー ②神戸市・芦屋市・西宮市内で「阪神間モダニズム」を感じる場所・モノ・ヒト・グルメ・イベントなどの写真を撮影 ③「#感じる阪神KAN」のタグをつけてInstagramに投稿

※画像はInstagramより

コレもチェック！
2020年秋、武庫川女子大学経営学部と連携し、これまでに発行したマップで街を巡る調査を実施。学生たちが見つけた独自のおすすめのスポットをInstagramにアップしているので、ぜひフォローしてください。

発行元：阪神間連携ブランド発信協議会(神戸市東灘区、芦屋市、西宮市、阪神電気鉄道株式会社)

※掲載情報は2021年3月1日現在のものです。※本誌掲載価格は基本的に税込です。※本誌掲載の記事、写真などの無断転載を禁じます(複製権はイメージ)。※新型コロナウイルス感染症の影響により、店舗(営業)形態が変更となる場合があります。最新情報は各所にお問合せください。

FM802 DJ浅井博章さんが 本の魅力をナビゲート



ラジオDJは言葉を使う仕事ですから、常に美しい日本語に触れていたいです。想像力をふくらませ、教養を磨き、視野を広げる目的もあります。読んだ本の数だけ人生の色彩は豊かになりますよ。娯楽があふれているこの時代にこそ、本のページをめくりませんか。

YouTube「浅井書房」はコチラから！



[PROFILE] FM802 DJ. SUPERFINE SUNDAY(日曜7~12時). EVENING TAP(月曜・火曜18~21時)を担当。毎週日曜10:45からのコーナー「MORNING STORY」や、自身のYouTubeチャンネル「浅井書房」でもおすすめの本を紹介。

「阪神間のスポットが登場する本の見どころを紹介！」

A 小川洋子『ミナナの行進』(中公文庫)

12歳で芦屋の親戚宅に預けられた少女が、その家に住む人々と過ごした1年間のを描く、読みやすくじんわり感動する温かい作品です。美人で病弱な従姉妹と、ハンサムな伯父、ドイツ人の祖母、使用人たちなど、登場人物は誰もが個性的で優しい。ミュンヘン五輪の年、1972年の話ですが、いつの時代も芦屋の閑静な街並みには人々の憧れが溢れています。これを読めばきっとあなたも同じくなるはず、カバを。



B 村上春樹『風の歌を聴け』(講談社文庫)

1970年、海辺の街に帰省した大学生が体験するひと夏の物語。毎晩のように行きつけのバーでビールを飲む主人公の青春は、半世紀経った今の時代に読んでも都会的でスタイリッシュ。美しく味わい深い文章はさすがの一言で、お気に入りの箇所を選んで何度も読み直したくなります。作中、ラジオから流れる音楽やDJのトークもいいアクセントに。ところで村上春樹の小説を読んだ後は、一時的に口調が「春樹っぽく」変わるのは僕だけですか。



C 有川ひろ『阪急電車』(幻冬舎文庫)

阪急今津線に乗り合わせた5組ほどの男女が繰り出す物語を、西宮北口駅から宝塚駅までの8駅を往復16話でつづった珠玉の連作短編集。どの話もすがすがしくほのかな感動があるし、各話の繋がり方が絶妙でワクワクしちゃいます。当たり前だけど、乗客一人ひとりにそれぞれの人生とドラマがあるんですね。こんな素敵な出会いに憧れて、車内で見かけた気になる他人に話しかけてみたくなること請け合い。ああ、電車っていいものだなー。



D 谷崎潤一郎『細雪』(新潮文庫)

昭和初期の芦屋と大阪を舞台に、まるきり性格の違う四姉妹に巻き起こる出来事を描く、今風に言えば娯楽小説。当時の上流家庭の暮らしがうかがえてきます。華やかで優雅な三女と、自由で現代的な次女。二人の生き方の違いも興味深い。男運のない女性っていつの世もいるんですね……。登場人物の話す上品な関西弁も心地よく、全体的に明るい内容なので、朝ドラを見る感覚で毎日少しずつ読み進めるのが楽しいかも。



E 水上勉『櫻守』(新潮文庫)

桜をこよなく愛し、戦前から戦後へと移ろう時代に奮闘するながら、桜を守ることに生涯を捧げた庭師の物語。前半の舞台は西宮と宝塚をまたぐ武田尾温泉です。戦禍や都市開発によって豊かな自然が失われ、多くの桜が切り倒された史実に胸が痛みます。ソメイヨシノに限らず、あらゆる桜が日本人にとっていかに大切な存在として受け継がれてきたのか、無骨で誠実な主人公の生き様から見えてきます。日本の美しい山桜や里桜を数多く見ますよ。



今も活躍する人気作家が描いた風景へGO！

MAP 01 A ミナナの行進 に登場

芦屋市立図書館打出分室(旧松山家住宅松清庵)

打出駅

数々の作家がこよなく愛した、重厚な石造りの図書館

イタリア・ルネサンス邸宅風の洋館は、明治期に建てられた元銀行。芦屋ゆかりの芥川賞作家・小川洋子の『ミナナの行進』にもこの建物は登場し、壁面を這うツル草や中国風の飾りがはめ込まれた両開きの扉などが描写されている。

0797-38-7220 ●芦屋市打出小堀町15-9 10:00~17:00 ●火・日曜、祝日 ※第1火曜が祝日の場合はその翌開館日を休業 ●入館無料 ●館内禁煙 ●阪神打出駅より徒歩約3分 ●https://www.hlc-saas-nexs-service.jp/ashiya/



MAP 02 B 風の歌を聴け に登場

打出公園 サルの檻

打出駅

春樹ファンの聖地でもある公園へ



村上春樹のデビュー作『風の歌を聴け』に登場する「猿の檻のある公園」のモデルになった通称「おさる公園」。かつては実際に猿がいたが、今は檻と猿のイラストが春樹ファンを迎えてくれる。その猿のイラストが手にする本にも注目！

0797-38-2065(芦屋市都市建設部道路・公園課) ●芦屋市打出小堀町15 ●見学自由 ●阪神打出駅より徒歩約3分

村上春樹作品のこちもチェック！



「ランゲルハンス島の午後」(新潮文庫)

安西水丸の絵とともに雑誌に連載された24篇と書き下ろし1篇によるエッセイ集。タイトルにもなっている「ランゲルハンス島の午後」は、夙川近くに住んでいた村上の中学時代の回想録にみる。



あしはらばし 葎原橋

香櫨園駅

村上少年にとっての思い出の橋

作品に登場する橋のモデル・葎原橋は、夙川の河口近くにある趣のある古い石の橋。少年期を夙川で過ごした彼にとっての思い出の場所だ。

●西宮市川添町9、西宮市上殿原町2 ●見学自由 ●阪神香櫨園駅より徒歩約12分

MAP 04 C 阪急電車 に登場

阪急今津線

西宮北口駅ほか

沿線の各駅が物語の舞台に

著者が学生時代に今津線に住んでいたことから、思い入れのあるこの路線を舞台にした小説『阪急電車』。甘酸っぱい恋の始まりや苦い別れの兆しなど、駅ごとに訪れる物語の主人公気分が各駅に降り立ってみたい。



●西宮市の阪急西宮北口駅～宝塚駅の阪急宝塚線

●https://www.hankyu.co.jp

“文学の道”といわれる遊歩道が香櫨園に！！

MAP 05 夙川オアシスロードと阪神香櫨園駅

作家たちを魅了した自然美にあふれた遊歩道



夙川オアシスロード ●0798-35-3611(西宮市公園緑地課) ●西宮市神楽町 ほか ●見学自由 ●阪神香櫨園駅より下車すぐ

レトロでおしゃれな 阪神香櫨園駅ホームをチェック！

宮本輝の『青が散る』などの舞台にもなった閑静な住宅街が広がる香櫨園駅周辺。レトロな装飾が施された駅舎も、まるで小説のワンシーンのよう！



谷崎潤一郎といえど！こちもチェック！

MAP 07 芦屋市谷崎潤一郎記念館

芦屋駅

谷崎文学の魅力を伝える記念館

谷崎潤一郎が好んだ数寄屋風の邸宅を模した記念館と庭園で構成。直筆原稿や初版本など貴重な資料も多く収蔵・展示されるほか、谷崎の映像や音声を視聴できるコーナーもある。

0797-23-5852 ●芦屋市伊勢町12-15 10:00~17:00(入館は16:30まで) ●月曜(祝日の場合は開館、翌日休)、展示入れ替え期間 ●一般300円、大・高生200円、中学生以下無料 ※特別展は展覧会により料金が異なる ●館内禁煙 ●阪神芦屋駅より徒歩約15分 ●https://www.tanizakikan.com/

MAP 08 阿彌陀寺 参道

住吉駅

旅立ちの心情を詠んだ歌碑が立つ

寛永14(1637)年間基の地元の人に親しまれる浄土宗の古刹。参道に立つ歌碑は谷崎が阪神間から熱海へ疎開する際に詠んだもので、この地を離れる寂しさが訪れている。

078-851-3215(阿彌陀寺) ●神戸市東灘区住吉町2-1-1 ●歌碑(参道)は見学自由、寺院境内は9:00~17:00 ※法要中の境内散策は不可 ●JR住吉駅より徒歩約4分、阪神住吉駅より徒歩約14分

MAP 09 E 櫻守 に登場

岡本南公園(桜守公園)

岡本駅

桜の名所として親しまれる桜博士の邸宅跡

水上勉の小説『櫻守』の主人公のモデルになった、桜の研究と保護に一生を捧げた桜博士・笹部新太郎の邸宅跡。地元の人たちは親しみを込めて「桜守公園」と呼び、春になればエドヒガンやササバザクラなど10種類約30本の美しい桜景色が楽しめる。

●神戸市東灘区岡本5 ●見学自由 ●阪急岡本駅より徒歩約5分、JR摂津山本駅より徒歩約8分



阪神KAN お散歩マップ

文学編



まだある！文学散歩オススメスポット

MAP 16 海清寺

南北朝時代(1394年)の創建と伝えられる海清寺は、多くの禅僧を育ててきた、西宮市を代表する臨済宗の禪宗寺院。明治～昭和に活躍した随筆家や詩人の蘆田泣重の小説『神木虫魚』にある一編「老和尚とその弟子」の舞台として描かれている。また、境内には樹齢600年を超えるクスノキの大木も見られる。☎0798-22-2637 ●西宮市六湛寺7-25 ☎7:00～17:00(季節により開門時間は異なる) ●無休 ●阪神西宮駅より徒歩約5分

MAP 17 富田碎花旧居

「兵庫県文化の父」とも称される民衆詩人の詩人・富田碎花の旧居。現在は一般公開され、貴重な遺品や原稿などを展示。また、詩の題材にもなった四季折々の草花が育つ庭も魅力。☎0797-38-2091(芦屋市生涯学習課) ●芦屋市宮川町4-12 ☎10:00～16:00(入館は15:00まで) ●水・日曜のみ開館(8/13～19・12/29～1/3を除く) ●無料 ●館内禁煙 ●阪神打出駅より徒歩約10分 ●<https://www.city.ashiya.lg.jp/bijutsu/bunkashisetsu.html>

MAP 18 虚子記念文学館

明治から昭和にかけて活躍した俳人・高浜虚子の記念館として平成12(2000)年に開館。常設展示は虚子の足跡を5つのテーマに分け、時代を追って展示。また、虚子と俳句に関するテーマの企画展の開催もあり。☎0797-21-1036 ●芦屋市平田町8-22 ☎10:00～17:00(入館は16:30まで) ●月曜(祝日の場合は開館、翌日休)、年末年始 ●一般500円、18歳以下300円 ●館内禁煙 ●阪神芦屋駅より徒歩約15分 ●<http://www.kyoshi.or.jp>

「火垂るの墓」関連スポットをPICK UP!

MAP 19 火垂るの墓記念碑(西宮震災記念碑公園)

野坂昭如の小説や同名の映画で知られる「火垂るの墓」の記念碑が、令和2(2020)年5月14日、有志一同により作品のゆかりの地・ニテコ池近隣の西宮震災記念碑公園に建てられた。碑には「小説 火垂るの墓 誕生の地」と刻まれ、その台座は本を重ねたデザイン。●西宮市奥畑5 ●見学自由 ●阪急西宮駅より徒歩約10分 ●<https://www.nishi.or.jp/access/koen/kinenhi.html>

MAP 20 ニテコ池

深緑色の水を湛々とたたえる西宮市の野水池であり、春は桜の名所としても名高いニテコ池は、野坂昭如の小説「火垂るの墓」ゆかりの場所としても有名だ。野坂が戦中に住んでいた親戚の家がこの池の近くにあり、映画版では、幼い兄妹がこの池で雪と遊ぶシーンなど、ニテコ池周辺の景色が忠実に描かれている。●西宮市満池谷町12 ●見学自由 ●阪急西宮駅より徒歩約9分

MAP 21 御影公会堂

映画「火垂るの墓」では、空襲直後に辺りが焦土と化するなか、焼けずに残っていた御影公会堂と、その横を流れる石屋川沿いを歩く兄妹の姿が印象的に描かれる。☎078-841-2281 ●神戸市東灘区御影石町4-4-1 ☎9:00～21:00(御影郷土資料室・基納治五郎記念コーナーは～17:00、B1Fの御影公会堂食堂は11:00～14:00LO) ●火曜、年末年始 ●見学無料 ●館内禁煙 ●阪神石屋川駅より徒歩約5分 ●<https://mikago-kokaido.jp>

MAP 22 火垂るの墓記念碑(石屋川公園)

国道2号を挟んで御影公会堂の南側にある石屋川公園は桜の名所でもあり、市民の憩いの場。その横を流れる石屋川は小説「火垂るの墓」で幾度となく登場する。公園内に立つ記念碑には、主人公の清太と節子が雪を眺めるワンシーンと、防空襲市を脱した節子が描かれている。●神戸市東灘区田町1-1 ●見学自由 ●阪神石屋川駅より徒歩約3分

バックナンバーが見られる！
各スポットのGoogleマップも掲載！

WEBサイトはこちら！

阪神KANお散歩マップ
<https://www.hanshin.co.jp/modernism>

AM 10:00

MAP 10 カフェ クオリティーシーズン

隠れ家カフェで名物スコーンをフランス産小麦と発酵バターを使い、店主自ら焼き上げるスコーンは外はザクザク、中はしっとりとした絶妙な食感。リッチな香りのバリ生菓子の紅茶「ジャンナッツ」もそうう穴場カフェで、優雅な時間を過ごそう。

☎0798-31-6689 ●西宮市東町9-7 サンハイツ香研園1F ☎10:00～18:30LO ●木曜 ●店内禁煙 ●阪神香櫨園駅より徒歩約2分

AM 9:55

START 阪神香櫨園駅

7分7秒散歩

MAP 03 葎原橋と
MAP 05 夙川オアシスロード

夙川オアシスロードは四季折々の自然に囲まれた気持ちのよい散歩道。夙川に架かる橋のうち、河口から2番目の小さな橋が葎原橋だ。裏ページで紹介

阪神電車で行く！

文学散歩と！

グルメを楽しむ！

オススメ！

モデルコース

MAP 12 ハニーマザー 神戸店

話題のマヌカハニー専門店
抗菌作用や免疫力アップが期待できると話題のはちみつ「マヌカハニー」の専門店。2020年秋に新しくなったショップは専門店ならではの充実したラインナップに加え、グルテンフリースイーツも多彩にそろふ。

☎078-224-5439 ●神戸市東灘区御影中町4-8-8 ☎10:00～18:00 ●無休 ●店内禁煙 ●阪神御影駅より徒歩約8分 ●<https://honey-mother.jp/>

生キャラメルのようなコクのある「マヌカハニー」は250g2,500円～。

MAP 21 御影公会堂と
MAP 22 石屋川公園

PM 2:00

御影公会堂とその周辺は、小説や映画「火垂るの墓」に登場。空襲後、主人公の兄妹が石屋川沿いに御影公会堂方面を目指すシーンがある。

MAPリストで紹介

MAP 11 ビースカレー

PM 0:30

複雑なおいしさがクセになるスリランカカレー
スリランカカレーと欧風カレーの両方が楽しめる芦屋のカレー専門店。人気の「スペシャルランカプレート」は、9種類の副菜とお豆のカレーとメインのカレーが乗ったスリランカカレーで、カレーマニアも絶賛するおいしさ。

☎0797-75-9311 ●芦屋市茶屋町2-24 ☎11:30～14:30LO ●ホーローがなくなり次第閉店 ●火曜、不定休あり ●店内禁煙 ●阪神芦屋駅より徒歩約8分 ●色鮮やかな「スペシャルランカプレート」1,100円。副菜の数も多く、それぞれの食感や味が重なり合った奥行きのある味わいが人気。

MAP 01 芦屋市立図書館打出分室

PM 11:50

〈旧松山家住宅松清館〉

ツタに覆われた石造りの図書館は、小川洋子や村上春樹の小説に登場。作家たちに思いを馳せながら、本のページをめくってみよう。

裏ページで紹介

人気の個性派書店へ

MAP 13 みどり文庫

ビルの2階にあり、店主さんが笑顔で出迎えてくれる古書店。こじんまりとした店内には、文芸書や関西の詩人の詩集など、文化的な価値の高い古本もあれば、その横には料理本や園芸雑誌といった暮らしにまつわる雑誌も並び、本好きの友人宅を訪れたようなアットホームな心地良さが評判だ。100円均一のコーナーは掘り出しものも多数。

今年でオープン6年目、最初は店主さんの趣味の本が多かったが、今は持ち込みも増え、多様なジャンルの本が充実。

☎なし ●西宮市甲子園六番町19-3 メイプル甲子園202 ☎13:00～17:30 ●火・金曜 ●土曜と日曜が各月1回休 ●店内禁煙 ●阪神甲子園駅より徒歩約5分

MAP 14 風文庫

レトロなマンションに2019年に誕生。店主さんが長年集めた絵本などを扱うほか、希望者が本を間借りして販売する「芦屋みつばち古書店」を併設するユニークな構成だ。また、ギャラリースペースではアーティストの作品を展示販売するなど、本と雑貨との一期一会を楽しむたいスポット。

小さな本箱が46個あり、それぞれの店主たちのこだわりがにじみ出ている。通うたびに新しい出会いがありそう！

☎なし ●芦屋市西山町11-6-303 ☎11:00～18:00 ●火・木曜(臨時休業あり) ●店内禁煙 ●阪神芦屋川駅より徒歩約2分、JR芦屋駅より徒歩約12分、阪神芦屋駅より徒歩約15分 ●<https://kazebunko.com>

MAP 15 まめ書房

沖繩の本(新刊・古書)と工芸品を扱う小さな書店。ジャンルは問わず、美術書からエッセイ、歴史や食の本まであり、沖繩の奥深い魅力にいろんな角度から出会うことができる。店内には席に座って本がじっくり読めるコーナーや、沖繩の民具や現代作家の工芸品などを扱うギャラリースペースもある。

店主ご夫婦は本や工芸品への造詣が深く、会話を愉しみに訪れるお客さんも多い。沖繩の新たな一面をここで見つけてみたい。

☎090-8209-3730 ●神戸市東灘区岡本1-12-26 マンション105 ☎11:00～19:00 ●水・木曜 ●店内禁煙 ●阪急岡本駅より徒歩約2分、JR摂津本山駅より徒歩約5分 ●<https://mameshobo.weebly.com>